

令和4年度青梅市・羽村市合同「東京の空襲資料展」 及びデジタルコンテンツの公開について

終戦から75年以上が経過し、戦争の悲惨さや平和の大切さを若い世代に伝えていく機会が減っています。東京の空襲被害や戦時中の様子、戦争の悲惨さなどを知ることで、広く平和について考える機会となるよう、3月10日の「東京都平和の日」に合わせて、羽村市と青梅市では、「東京の空襲資料展」を合同で開催します。

1 資料の展示「東京の空襲資料展」

日 時 令和5年3月1日（水）～令和5年3月13日（月）

各日 午前8時30分～午後5時15分

※【羽村市】4日（土）、5日（日）、12日（日）を除く。

11日（土）は午前8時30分～正午。

※【青梅市】4日（土）、5日（日）、11日（土）、12日（日）を除く。

2日（木）、9日（木）は午前8時30分～午後8時。

会 場 【羽村市】羽村市役所 1階市民ホール

【青梅市】青梅市役所 玄関ホール

内 容 郷土博物館に収蔵されている空襲関連資料、東京都所有の写真パネル

入 場 無料

●令和3年度の様子（羽村市会場）



●令和3年度の様子（青梅市会場）



次項へ続く

2 デジタルコンテンツの公開について

羽村市公式サイト内に開設している「デジタル平和資料館」において、市民の戦争体験記・寄稿集等に加えて、以下の期間、羽村市郷土博物館に収蔵されている空襲関連資料の一部を掲載します。

期 間 令和5年3月1日（水）～令和5年3月13日（月）
場 所 羽村市公式サイト <https://www.city.hamura.tokyo.jp>
内 容 市民の戦争体験記・寄稿集、
羽村市郷土博物館に収蔵されている空襲関連資料など

【イメージ】

焦げあとのある防空頭巾

[2021年2月10日] ID:14717

戦時中に実際に使われた防空頭巾です。

昭和20年頃、八王子市で空襲にあった際、生後2カ月の子どもが着用していたもので、焼夷弾により頭頂部に焦げあがつきました。

※画像をクリックすると、解説動画のページに遷移します。



令和2年度 東京の空襲資料展

- > [羽村市の空襲関連資料](#)
- > [焦げあとのある防空頭巾](#)
- > [西多摩村警防隊の印章とふ](#)
- > [警戒警報、空襲警報の看板](#)
- > [練馬駅前防空壕を語る中野立山](#)
- > [特異防空必携](#)
- > [国民防空決意](#)
- > [西多摩村警防隊 防空日記](#)
- > [西多摩村警防隊 警戒日記](#)
- > [西多摩村警防隊 記録](#)
- > [陸軍防空指導要綱](#)